

「標準テキスト」の整備計画(案)

1. 目的

国、地方公共団体の防災担当職員が、職員(個人)として有しておくべき防災に係る基本的な知識の習得を目的とする。

2. 基本条件

① 対象

国、地方公共団体の防災担当職員

② 掲載する内容の範囲

防災スペシャリストとして必要な能力を身につけるための学習項目を、標準テキストの掲載する内容の範囲とする。

- 活動の前提(枠組み、基礎知識)
- 活動遂行能力(知識・技能)
 - ◇ 26の防災活動の活動遂行能力を身につけるための「知識」・「技術」
- 活動遂行能力(態度)
 - ◇ 防災スペシャリストとして共通に身につけておくべき「態度」

③ 基礎資料

これまで内閣府(防災担当)が作成した、以下の資料をベースに作成する。

- 平成 25 年度企画検討会において整理した「活動の前提」及び「活動遂行能力」を身につけるための学習項目
- 平成 25 年度有明の丘研修で使用された講師テキスト、資料等の教材
(参考) 標準的な研修プログラム ～防災担当職員用～ (平成 15 年 5 月)
(参考) 防災に関する標準テキスト (平成 19 年 3 月)

④ 活用の場面（位置づけ）

標準テキストは、以下の場面で活用することを前提に作成する。

- 有明の丘研修等の研修教材作成時の基礎資料
- 有明の丘研修等の研修時のテキスト
- eラーニング整備時の基礎資料
- 職員の自主学習時の教材（職場内・外）
- 職場内防災専門研修時のテキスト
- 災害対応時の参考資料

⑤ テキストの形態

標準テキストは、PowerPoint を使用して作成する。

- 【スライド面】 学習内容の重要事項を分かりやすくまとめた内容を掲載する
- 【ノート面】 スライド面を説明する際に必要な事項を掲載する
- 1つの学ぶ単位（目次構成案の「節」レベル）ごとに1ファイルでまとめることを基本とする
- スライドの投影、印刷（A4 縦）の両面で使用可能とする



PowerPoint の
画面構成

3. テキストの構成

① 全体構成

標準テキストの全体構成は、有明の丘研修のコース区分を用いて、以下の編で構成する。

編の名称	掲載内容(概要)
防災基礎編	防災活動を行う上で前提となる「活動の前提」に係る「知識」 (防災業務の遂行に不可欠な基礎知識)
総合防災編	組織の運用上不可欠な総合調整を行う上で必要となる「知識」
個別課題編	個別課題に特化し、その課題への対応を図る上で必要な「知識」

② 目次構成

目次構成は、「活動の前提」及び「活動遂行能力」を身につけるための学習項目を基本に、「標準的な研修プログラム ～防災担当職員用～」を参考とし、作成する。なお、有明の丘研修等の研修における教材開発やeラーニングコンテンツとしての活用も踏まえた構成となるよう留意する。

※ 資料4-1 「標準テキスト」目次構成(案)を参照

4. 開発スケジュール

表. 平成 26 年度 標準テキスト開発スケジュール

作業	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
企画検討会	第1回 (1)	第2回 (26)		第3回 (31)		第4回 (9)	第5回 (29)	第6回 (23)	第7回 (25)
①整備計画の検討	■								
②学習目標及び学習内容等の検討		■							
③「テキスト(案)」の作成									
1) 防災基礎編		■							
2) 総合管理編		■							
3) 個別対策編		■							
④「テキスト(案)」の検討									
1) 防災基礎編				■					
2) 総合管理編				■		■			
3) 個別対策編				■	■	■	■		
⑦「テキスト(修正案)」の検討									
1) 防災基礎編						■	■	■	
2) 総合管理編						■	■	■	
3) 個別対策編						■	■	■	
⑧「標準テキスト(案)」の承認								全部	■